

平成26年度

大網白里市決算審査意見書

公 営 企 業 会 計

(ガス事業・病院事業)

大網白里市監査委員

監 第 172 号  
平成27年8月24日

大網白里市長 金坂 昌典 様

大網白里市監査委員 大島 有紀子  
同 加藤岡 美佐子

平成26年度大網白里市公営企業会計決算審査の意見について  
地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審議に付された平成26年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出する。

## — 目 次 —

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1

### 【ガス事業会計】

1	経営状況について	2
(1)	経営成績について	2
2	審査状況について	2
(1)	概況	2
(2)	収益的収入及び支出	3
(3)	資本的収入及び支出	4
(4)	損益計算書比較表	5
(5)	貸借対照表	6
	むすび	6

### 【病院事業会計】

1	経営状況について	7
(1)	経営成績について	7
2	審査状況について	7
(1)	概況	7
(2)	収益的収入及び支出	8
(3)	資本的収入及び支出	9
(4)	損益計算書比較表	10
(5)	貸借対照表	11
	むすび	11～12

※ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

※ 負数は「△」で表示した。

## 平成26年度大網白里市公営企業会計決算審査意見

### 第1 審査の対象

平成26年度大網白里市ガス事業会計決算

平成26年度大網白里市病院事業会計決算

### 第2 審査の期間

平成27年7月1日から平成27年7月27日まで

### 第3 審査の方法

決算書、その他関係諸表等の確認と予算の執行及び事業の経営、管理が適性かつ有効に運営されているか検証するため、関係諸帳簿、証書類、資料等について、確認を行い審査した。

### 第4 審査の結果

審査に付された平成26年度大網白里市公営企業会計（ガス事業会計・病院事業会計）の決算諸表は、地方公営企業法、同施行規則の規定に基づいて作成され、財政状態及び経営成績を適正に表示しているものと認めた。

## 【ガス事業会計】

### 1 経営状況について

#### (1)経営成績について

当年度ガス事業会計においては総収益723,956,172円に対し、総費用674,348,698円で、純利益は49,607,474円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると次表のとおりである。

(単位:円)

区分 \ 年度	総収益	総費用	純利益
26年度	723,956,172	674,348,698	49,607,474
25年度	638,684,197	626,531,695	12,152,502
24年度	652,007,197	621,621,626	30,385,571

### 2 審査状況について

#### (1)概況

ガス事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

区分 \ 年度	24年度	25年度	前年度比 (%)	26年度	前年度比 (%)
年度末供給戸数 (戸)	11,120	11,199	100.7	11,298	100.9
供給ガス量 (m <sup>3</sup> )	7,773,425	7,409,734	95.3	7,499,059	101.2
ガス購入量 (m <sup>3</sup> )	7,418,703	7,328,318	98.8	7,322,166	99.9
1ヶ月平均供給ガス量 (m <sup>3</sup> )	647,785	617,478	95.3	624,922	101.2

事業内容を見ると、年度末供給戸数は11,298戸で、前年度より99戸の増加となっている。

供給ガス量は7,499,059m<sup>3</sup>で、前年度と比較して89,325m<sup>3</sup>の増となっており、1ヶ月平均供給ガス量は624,922m<sup>3</sup>となっている。

勘定外ガスについては、△180,553m<sup>3</sup>である。

## (2) 収益的収入及び支出

## 収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
ガス事業収益	674,530,000	911,520,000	670,379,980	772,551,145	△ 4,150,020	△ 138,968,855		
製品売上	623,363,000	646,009,000	616,378,685	640,845,273	△ 6,984,315	△ 5,163,727		
営業雑収益	47,647,000	60,084,000	49,874,237	42,683,275	2,227,237	△ 17,400,725		
営業外収益	3,520,000	205,427,000	4,127,058	67,495,379	607,058	△ 137,931,621		
特別利益	0	0	0	21,527,218	0	21,527,218		

## 支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		不用額	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
ガス事業費用	663,946,000	910,828,000	654,602,941	714,166,430	9,343,059	196,661,570		
売上原価	299,405,000	313,001,000	292,790,387	304,146,200	6,614,613	8,854,800		
供給販売費及び一般管理費	305,025,000	517,774,000	304,686,963	355,240,936	338,037	162,533,064		
営業雑費用	46,075,000	57,241,000	45,924,815	39,748,102	150,185	17,492,898		
営業外費用	12,441,000	13,970,000	10,905,276	7,399,990	1,535,724	6,570,010		
特別損失	296,000	7,842,000	295,500	7,631,202	500	210,798		
予備費	704,000	1,000,000	0	0	704,000	1,000,000		

収益的収入の主なものは製品売上(ガス売上)で、前年度決算額616,378,685円に対し当年度決算額640,845,273円で24,466,588円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税45,541,649円が含まれているので実質決算額は595,303,624円である。

営業雑収益は、前年度決算額49,874,237円に対し当年度決算額42,683,275円で、7,190,962円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税2,883,116円が含まれているので、実質決算額は39,800,159円(うち受注工事収益は38,626,342円)である。

営業外収益は、前年度決算額4,127,058円に対し当年度決算額67,495,379円で、63,368,321円の増加であり、仮受消費税及び地方消費税170,208円が含まれているので、実質決算額は67,325,171円(うち雑収益は6,079,697円)である。

特別利益は、前年度決算額0円に対し当年度決算額21,527,218円で、皆増であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は21,527,218円である。

収益的支出の主なものは売上原価、供給販売費及び一般管理費で、前年度決算額597,477,350円に対し当年度決算額659,387,136円で、61,909,786円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税32,939,193円が含まれているので実質決算額は626,477,943円である。

営業雑費用は、前年度決算額45,924,815円に対し当年度決算額39,748,102円で、6,176,713円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税2,288,538円が含まれているので、実質決算額は37,459,564円である。

営業外費用は、前年度決算額10,905,276円に対し当年度決算額7,399,990円で、3,505,286円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は7,399,990円である。

特別損失は、前年度決算額295,500円に対し当年度決算額7,631,202円で、7,335,703円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は7,631,202円である。

### (3) 資本的収入及び支出

#### 収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
資本的収入	29,702,000	20,737,000	1,869,000	16,295,826	△ 27,833,000	△ 4,441,174		
負担金	29,702,000	20,737,000	1,869,000	16,295,826	△ 27,833,000	△ 4,441,174		

#### 支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度		
資本的支出	157,381,000	214,999,680	113,912,283	161,652,242	7,927,200	45,420,238		
建設改良費	134,078,000	182,292,680	90,609,734	138,946,017	7,927,200	35,419,463		
企業債償還金	23,303,000	22,707,000	23,302,549	22,706,225	0	775		
予備費	0	10,000,000	0	0	0	10,000,000		

資本的収入は、前年度決算額1,869,000円に対し当年度決算額は16,295,826円で、14,426,826円の増加であり仮受消費税及び地方消費税562,539円が含まれているので実質決算額は15,733,287円である。

資本的支出は、前年度決算額113,912,283円に対し当年度決算額は161,652,242円で、47,739,959円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税9,339,142円が含まれているので実質決算額は152,313,100円で、翌年度繰越額は7,927,200円である。

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額145,356,416円は、過年度分損益勘定留保資金135,879,813円、当年度分消費税資本的収支調整額8,776,603円、減債積立金の取り崩し700,000円で補てんする。

## (4) 損益計算書比較表

(単位:円)

科目	年度	24年度	25年度	前年度比	26年度	前年度比
1 営業収益		650,079,746	634,581,360	△ 15,498,386	635,103,783	522,423
(1)ガス売上		610,568,773	587,081,469	△ 23,487,304	595,303,624	8,222,155
(2)受注工事収益		38,307,074	46,355,647	8,048,573	38,626,342	△ 7,729,305
(3)器具販売収益		18,600	9,500	△ 9,100	43,310	33,810
(4)その他営業雑収益		1,185,299	1,134,744	△ 50,555	1,130,507	△ 4,237
2 営業費用		617,574,427	622,795,718	5,221,291	663,907,245	41,111,527
(1)ガス売上原価		281,763,216	278,840,806	△ 2,922,410	281,602,895	2,762,089
(2)供給販売費及び一般管理費		298,601,775	299,976,411	1,374,636	344,844,786	44,868,375
(3)受注工事費用		37,197,436	43,970,901	6,773,465	37,429,654	△ 6,541,247
(4)器具販売費用		12,000	7,600	△ 4,400	29,910	22,310
営業利益		32,505,319	11,785,642	△ 20,719,677	△ 28,803,462	△ 40,589,104
3 営業外収益		1,927,451	4,102,837	2,175,386	67,325,171	63,222,334
(1)有価証券利息(受取利息)		0	1,600,000	1,600,000	2,946,685	1,346,685
(2)長期前受金戻入		0	0	0	58,298,789	58,298,789
(3)雑収益		1,927,451	2,502,837	575,386	6,079,697	3,576,860
4 営業外費用		4,047,199	3,440,477	△ 606,722	2,810,251	△ 630,226
(1)企業債利息		4,047,199	3,440,477	△ 606,722	2,809,351	△ 631,126
(2)雑支出		0	0	0	900	900
経常利益		30,385,571	12,448,002	△ 17,937,569	35,711,458	23,263,456
5 特別利益		0	0	0	21,527,218	21,527,218
(1)過年度損益修正益		0	0	0	21,527,218	21,527,218
6 特別損失		0	295,500	295,500	7,631,202	7,335,702
(1)過年度損益修正損		0	295,500	295,500	1,021,832	726,332
(2)その他特別損失		0	0	0	6,609,370	6,609,370
当年度純利益		30,385,571	12,152,502	△ 18,233,069	49,607,474	37,454,972

営業収益635,103,783円の主なものは、ガス売上595,303,624円(93.73%)、受注工事収益38,626,342円(6.08%)である。

営業費用663,907,245円の主なものは、ガス売上原価281,602,895円(42.42%)、供給販売費及び一般管理費344,844,786円(51.94%)である。

営業外収益67,325,171円の主なものは、長期前受金戻入58,298,789円(92.21%)である。

営業外費用2,810,251円の主なものは、企業債利息2,809,351円(99.97%)である。

特別利益21,527,218円は、過年度損益修正益21,527,218円である。

特別損失7,631,202円の主なものは、その他特別損失6,609,370円(86.59%)である。



## (5) 貸借対照表

(単位:円)

区分	資 産 の 部		
	25年度	26年度	対前年度増減
固定資産	6,025,417,747	1,742,126,946	△ 4,283,290,801
流動資産	476,853,452	465,657,192	△ 11,196,260
計	6,502,271,199	2,207,784,138	△ 4,294,487,061

(単位:円)

区分	負 債 ・ 資 本 の 部		
	25年度	26年度	対前年度増減
固定負債	53,818,098	147,803,777	93,985,679
流動負債	84,786,451	128,938,764	44,152,313
繰延収益	0	723,226,569	723,226,569
資本金	866,060,657	705,703,472	△ 160,357,185
剰余金	5,497,605,993	502,111,556	△ 4,995,494,437
計	6,502,271,199	2,207,784,138	△ 4,294,487,061

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は2,207,784,138円で、前年度と比較して4,294,487,061円の減少である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 78.91%

流動資産465,657,192円の内訳は、現金預金427,660,409円、売掛金21,814,296円、貸倒引当金159,082円、未収金12,144,509円、貯蔵品2,526,760円、製品1,670,300円であり、前年度と比較して11,196,260円の減少である。

流動負債128,938,764円の内訳は、企業債22,035,281円、買掛金36,779,068円、未払金44,539,236円、未払費用1,887,577円、前受金13,462,440円、引当金8,085,162円、その他流動負債2,150,000円であり、前年度と比較して44,152,313円の増加である。

流動比率を見ると次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 361.15%

負債・資本合計2,207,784,138円に対する自己資本1,207,815,028円(資本金705,703,472円、剰余金502,111,556円)の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債・資本合計×100) = 54.71%

剰余金502,111,556円の内訳は、資本剰余金43,463,541円(受贈財産評価額999,241円、工事負担金42,464,300円)、利益剰余金458,648,015円(減債積立金60,000,000円、利益積立金50,280,000円、建設改良積立金193,000,000円、災害準備積立金105,000,000円、当年度未処分利益剰余金50,368,015円)である。

## 《むすび》

ガス事業会計の平成26年度決算審査結果は以上のとおりである。

その経営状況は、総収益7億2,395万6千円(前年度6億3,868万5千円)、総費用6億7,434万9千円(前年度6億2,653万2千円)であり、差し引き4,960万7千円(前年度1,215万3千円)の純利益となっている。

ガス事業会計については、安定供給と保安の確保、経年導管対策事業に注力し、経営の効率化を基本的な理念として事業運営を進めており、昨年と比較して既設供給区域内の需要家は99戸増加、販売実績は1.2%増加となっている。引き続き公営企業としての基本理念を堅持し、経営の効率化・健全化に努められたい。

## 【病院事業会計】

### 1 経営状況について

#### (1) 経営成績について

当年度病院事業会計においては、総収益2,209,192,872円に対し、総費用2,310,376,622円で、純損失は101,183,750円となっている。

経営状況の過去3カ年にわたる実績を比較すると、次表のとおりである。

(単位:円)

区分 \ 年度	総収益	総費用	純利益
26年度	2,209,192,872	2,310,376,622	△ 101,183,750
25年度	2,250,630,481	2,238,012,368	12,618,113
24年度	2,221,123,671	2,185,135,978	35,987,693

※24年度総収益は、特別利益を含む。

### 2 審査状況

#### (1) 概況

病院事業内容を過去3カ年にわたり比較すると次表のとおりである。

区分 \ 年度	24年度	25年度	前年度比 (%)	26年度	前年度比 (%)
入院患者数 (人)	29,102	27,849	95.7	27,059	97.2
外来患者数 (人)	72,512	72,910	100.5	64,198	88.1
計	101,614	100,759	99.2	91,257	90.6

事業内容を見ると、患者数計は91,257人で前年度に対し9,502人減(入院患者数790人減、外来患者数8,712人減)となっている。

## (2) 収益的収入及び支出

## 収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
病院事業収益	2,313,647,000	2,188,350,000	2,254,601,854	2,214,291,206	△ 59,045,146	25,941,206		
医業収益	2,201,796,000	2,044,562,000	2,144,556,077	2,044,043,563	△ 57,239,923	△ 518,437		
医業外収益	111,848,000	143,785,000	110,045,777	170,247,643	△ 1,802,223	26,462,643		
特別収益	3,000	3,000	0	0	△ 3,000	△ 3,000		

## 支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		不用額	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度
病院事業費用	2,275,188,000	2,321,740,000	2,237,968,565	2,311,347,619	37,219,435	10,392,381		
医業費用	2,223,007,000	2,225,993,000	2,188,964,617	2,221,134,841	34,042,383	4,858,159		
医業外費用	49,578,000	46,850,000	49,003,948	46,318,009	574,052	531,991		
特別損失	3,000	43,897,000	0	43,894,769	3,000	2,231		
予備費	2,600,000	5,000,000	0	0	2,600,000	5,000,000		

収益的収入の主なものは医業収益(入院収益、外来収益等)で、前年度決算額2,144,556,077円に対し当年度決算額2,044,043,563円で100,512,514円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税4,600,988円が含まれているので実質決算額は2,039,442,575円である。

医業外収益は、前年度決算額110,045,777円に対し当年度決算額170,247,643円で、60,201,866円の増加であり仮受消費税及び地方消費税497,346円が含まれているので、実質決算額は169,750,297円である。

収益的支出の主なものは医業費用で、前年度決算額2,188,964,617円に対し当年度決算額2,221,134,841円で、32,170,224円の増加であり、仮払消費税及び地方消費税77,254,318円が含まれているので実質決算額は2,143,880,523円である。

医業外費用は、前年度決算額49,003,948円に対し当年度決算額46,318,009円で、2,685,939円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は2,685,939円である。

特別損失は、前年度決算額0円に対し当年度決算額43,894,769円で、皆増であり、仮払消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は43,894,769円である。

### (3)資本的収入及び支出

#### 収入

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		予算対決算増減	
	25年度	26年度	25年度	26年度	25年度	26年度		
資本的収入	108,360,000	88,646,000	108,661,856	88,742,000	301,856	96,000		
出資金	103,819,000	85,942,000	103,819,000	85,942,000	0	0		
補助金	1,914,000	2,000	2,217,856	0	303,856	△ 2,000		
繰入金	2,625,000	2,700,000	2,625,000	2,700,000	0	0		
寄付金	1,000	1,000	0	100,000	△ 1,000	99,000		
企業債	1,000	1,000	0	0	△ 1,000	△ 1,000		

#### 支出

(単位:円)

区分	年度		予算現額		決算額		翌年度繰越額	不用額
	25年度	26年度	25年度	26年度				
資本的支出	208,395,000	150,917,000	208,128,593	144,176,896	0	6,740,104		
建設改良費	84,585,000	61,439,000	84,318,717	54,699,643	0	6,739,357		
企業債償還金	123,810,000	89,478,000	123,809,876	89,477,253	0	747		

資本的収入は、前年度決算額108,661,856円に対し当年度決算額は88,742,000円で、19,919,856円の減少であり、仮受消費税及び地方消費税は含まれていないので、実質決算額は88,742,000円である。

資本的支出は、前年度決算額208,128,593円に対し当年度決算額は144,176,896円で、63,951,697円の減少であり、仮払消費税及び地方消費税4,051,825円が含まれているので、実質決算額は140,125,071円である。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額55,434,896円は、当年度分損益勘定留保資金55,434,896円をもって補填する。

## (4) 損益計算書比較表

(単位:円)

科目	24年度	25年度	前年度比	26年度	前年度比
1 医業収益	2,074,872,631	2,140,876,159	66,003,528	2,039,442,575	△ 101,433,584
(1)入院収益	1,139,178,703	1,122,952,064	△ 16,226,639	1,059,479,477	△ 63,472,587
(2)外来収益	714,726,073	802,055,074	87,329,001	790,875,381	△ 11,179,693
(3)その他医業収益	220,967,855	215,869,021	△ 5,098,834	189,087,717	△ 26,781,304
2 医業費用	2,080,174,182	2,140,114,681	59,940,499	2,143,880,523	3,765,842
(1)給与費	1,093,675,536	1,088,529,385	△ 5,146,151	1,077,278,493	△ 11,250,892
(2)材料費	597,808,915	660,104,539	62,295,624	652,036,679	△ 8,067,860
(3)経費	297,046,111	308,413,444	11,367,333	321,036,195	12,622,751
(4)減価償却費	72,742,492	73,628,207	885,715	80,897,184	7,268,977
(5)資産減耗費	14,295,524	118,019	△ 14,177,505	2,261,067	2,143,048
(6)研究研修費	2,205,604	2,121,087	△ 84,517	1,970,905	△ 150,182
(7)看護師養成費	2,400,000	7,200,000	4,800,000	8,400,000	1,200,000
医業利益	△ 5,301,551	761,478	6,063,029	△ 104,437,948	△ 105,199,426
3 医業外収益	116,093,894	109,754,322	△ 6,339,572	169,750,297	59,995,975
(1)受取利息及び配当金	11,449	19,182	7,733	38,163	18,981
(2)補助金	70,792,000	70,792,000	0	100,073,000	29,281,000
(3)負担金及び交付金	33,293,000	31,214,000	△ 2,079,000	29,074,000	△ 2,140,000
(4)長期前受金戻入	0	0	0	33,111,134	33,111,134
(5)その他医業外収益	11,997,445	7,729,140	△ 4,268,305	7,454,000	△ 275,140
4 医業外費用	104,961,796	97,897,687	△ 7,064,109	122,601,330	24,703,643
(1)企業債利息	50,050,638	46,862,748	△ 3,187,890	43,618,109	△ 3,244,639
(2)その他医業外費用	45,188,321	51,034,939	5,846,618	78,983,221	27,948,282
(3)繰延勘定償却	9,722,837	0	△ 9,722,837	0	0
経常利益	△ 5,830,547	12,618,113	18,448,660	△ 57,288,981	△ 46,904,411
5 特別利益	30,157,146	0	△ 30,157,146	0	0
(1)過年度損益修正益	30,157,146	0	△ 30,157,146	0	0
6 特別損失	0	0	0	43,894,769	43,894,769
(1)臨時損失	0	0	0	43,894,769	43,894,769
当年度純利益	△ 35,987,693	12,618,113	48,605,806	△ 101,183,750	△ 88,565,637

当年度の損益計算書は、総収益(医業収益+医業外収益)2,209,192,872円、総費用(医業費用+医業外費用+特別損失)2,310,376,622円で、101,183,750円の純損失となっている。

総収益の内訳は、入院及び外来収益1,850,354,858円(構成比83.76%)、その他医業収益189,087,717円(8.56%)、医業外収益169,750,297円(受取利息及び配当金38,163円、補助金100,073,000円、負担金及び交付金29,074,000円、長期前受金戻入33,111,134円、その他医業外収益7,454,000円)である。

総費用の内訳は、医業費用2,143,880,523円(給与費1,077,278,493円、材料費652,036,679円、経費321,036,195円、減価償却費80,897,184円、資産減耗費2,261,067円、研究研修費1,970,905円、看護師養成費8,400,000円)、医業外費用122,601,330円(企業債利息43,618,109円、その他医業外費用78,983,221円)、特別損失43,894,769円である。

## (5)貸借対照表

(単位:円)

区分	年度	資 産 の 部		
		25年度	26年度	対前年度増減
固定資産		1,757,921,818	1,365,705,064	△ 392,216,754
流動資産		467,317,462	441,964,001	△ 25,353,461
計		2,225,239,280	1,807,669,065	△ 417,570,215

(単位:円)

区分	年度	負 債 ・ 資 本 の 部		
		25年度	26年度	対前年度増減
固定負債		768,310	1,049,448,819	1,048,680,509
流動負債		121,890,021	291,725,889	169,835,868
繰延収益		0	287,830,828	287,830,828
資本金		3,460,014,218	2,278,766,831	△ 1,181,247,387
剰余金		△ 1,357,433,269	△ 2,100,103,302	△ 742,670,033
計		2,225,239,280	1,807,669,065	△ 417,570,215

貸借対照表の前年度との比較は上表のとおりであり、資産合計は1,807,669,065円で、前年度と比較して417,570,215円の減少である。

固定資産構成比率 (固定資産÷資産合計×100) = 75.55%

流動資産441,964,001円の内訳は、現金預金113,646,353円、未収金306,814,174円、有価証券19,880円、貯蔵品21,483,594円で、前年度と比較して34,949,518円の減少である。

流動負債291,725,889円の内訳は、企業債92,669,625円、未払金151,847,264円、賞与等引当金47,209,000円であり、前年度と比較して169,835,868円の増加である。

繰延収益287,830,828円の内訳は、長期前受金702,603,250円、長期前受金収益化累計額△414,772,422円であり、前年度と比較して287,830,828円の増加である。

流動比率を見ると、次のとおりである。

流動比率 (流動資産÷流動負債×100) = 151.50%

負債資本合計1,807,669,065円に対する自己資本178,663,529円の構成比率は次のとおりである。

自己資本構成比率 (自己資本÷負債資本合計×100) = 9.88%

剰余金△2,100,103,302円の内訳は、資本剰余金13,142,875円(国県補助金292,875円、寄付金12,850,000円)、利益剰余金△2,113,246,177円(減債積立金37,000,000円、当年度末処分利益剰余金△2,150,246,177円)である。

### 《む す び》

大網病院事業会計の平成26年度決算審査結果は以上のとおりである。

その経営状況は、総収益22億919万3千円(前年度22億5,063万円)、総費用23億1037万7千円(前年度22億3,801万2千円)であり、差し引き1億118万4千円の純損失(前年度1,261万8千円の純利益)となっている。

大網病院事業会計については、各種医療機器や施設の整備を図るとともに、オーダーリングシステムやPACS(画像保存通信システム)の導入など、効率的・持続的な病院運営に努めている。

また、平成26年11月からは急性期病床79床、地域包括ケア病床20床とし、山武・長生地域の医療状況に即した病床変更を行っている。

患者数については、入院患者数は対前年度比2.8%減少、外来患者数は11.9%減少するなか、外来については化学療法を行う患者の増加により診療単価が引き上がったが、入院については、

患者数、診療単価ともに減少したため収益的収支では損失となっている。次年度以降に利益を生むための対策を講じられ、引き続き、市民の健康保持・増進対策の拠点として、地域医療の充実に向けた病院運営に努められたい。